



# 平成31年度暫定予算の概要

平成31年1月  
福岡県





# 平成31年度暫定予算のポイント

(単位:百万円)

## 1 予算編成 の考え方

- 平成31年度当初予算においては、統一地方選挙が行われるため、4月から7月までの暫定予算を編成
- 4か月間に必要な行政運営経費を計上

## 2 予算規模

区 分	平成31年度 暫定予算額	前年度当初 予算比
○ 一般会計	706,130	40.8%
人件費	135,102	34.7%
社会保障費	104,561	32.0%
公債費	23,110	10.5%
公共事業費	122,904	59.7%
災害復旧費	28,947	129.5%
行政施策費等	291,506	51.3%
○ 特別会計(15会計)	238,645	24.2%
合 計	944,775	34.8%



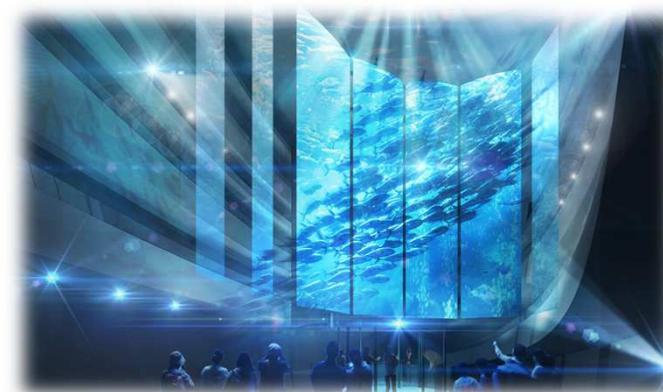
# 主な事業（総務部、企画・地域振興部）

## 総務部

- 九州ロゴマークを活用し、九州のブランド力を向上 2,558万7千円【新規】
  - ・ 九州・山口各県が連携した取組みや県内のイベントで活用することにより、九州の認知度を高める
- 県庁内に託児施設を整備 520万円
  - ・ 来年4月の託児施設開設に向け、設計を実施
- 防災・行政情報通信ネットワークを再整備 39億6,105万9千円
  - ・ 災害に強い高速・大容量の通信ネットワークを構築



<九州ロゴマーク>



<关门海峡ミュージアム(海峡アトリウム)>

## 企画・地域振興部

- 関門海峡ミュージアムの利用を促進 460万円
  - ・ リニューアルオープンに合わせた各種イベント、門司港地区を巡るモバイル・スタンプラリーを実施するとともに、記念式典を開催
- 北九州空港の利用を促進 1,536万6千円
  - ・ 海外の旅行会社による北九州空港国際線を活用した旅行商品の販売を支援
- タイ王国との文化交流を推進 583万4千円
  - ・ タイ王国総領事館の正式開館に合わせたレセプション、タイフェスティバルを開催



<昨年のタイフェスティバル>



# 主な事業（人づくり・県民生活部、保健医療介護部）

## 人づくり・県民生活部

○ ラグビーワールドカップ(RWC)2019を福岡で開催 5億5,189万6千円

[県内対戦カード]イタリア対カナダ（9月26日）、フランス対アメリカ（10月2日）、アイルランド対サモア（10月12日）



<RWC2019開催500日前イベントの様子>

○ 大規模スポーツ大会の開催を支援 5,000万円【新規】

・ 世界フィギュアスケート国別対抗戦2019大会、第103回日本陸上競技選手権大会の開催を支援

○ 障がい者スポーツを推進 3,819万9千円

・ 国内外の大会に出場する障がい者アスリート及び帯同者の遠征費用を支援  
・ 「県民体育大会」障がい者の部の競技種目を拡充

○ 「新宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の保存活用を推進 4,275万3千円

・ 新原・奴山古墳群の適切な保存管理を図るための整備、公有化を支援  
・ 海の日（7月15日）に遺産群周遊イベントを実施【新規】

## 保健医療介護部

○ 災害時の精神保健医療体制を整備 612万8千円【新規】

・ 県内の大学病院、精神科病院と協定を締結し、発災直後から中長期にわたり活動する災害派遣精神医療チーム「ふくおかDPAT」を整備

○ 市町村における介護サービスの提供を確保 197億8,021万2千円

・ 高齢者等が利用する介護サービスにかかる費用の一部を負担  
・ 低所得高齢者の介護保険料軽減を強化【拡充】



<DPAT(災害派遣精神医療チーム)>



# 主な事業（福祉労働部、環境部）

## 福祉労働部

- 市町村における保育所・認定こども園等の運営を支援 72億6,033万4千円
  - ・ 保育の受け皿拡大等に伴う利用人員の増加見込分（約6,000人）を確保
  - ・ 保育士確保のため、賃金の1%（月額3,000円相当）の処遇改善を実施
- 被災者生活再建支援制度の財政基盤を強化 14億8,798万5千円
  - ・ 各都道府県が出資する被災者生活再建支援基金への追加拠出を実施



## 環境部

- フードバンク活動を支援し、食品ロスを削減 1,347万3千円
  - ・ 食品提供企業の開拓や食品の受入窓口・管理の一元化により、持続可能なフードバンク活動を支援
- アジア諸地域との国際環境協力を推進 2,873万9千円
  - ・ ベトナム・フエ省における福岡方式廃棄物処分場の導入を支援
  - ・ 国際環境人材育成研修を実施



<国際環境人材育成研修の様子>



# 主な事業（商工部、農林水産部）

## 商工部

○ 中小企業の円滑な資金繰りを支援 融資総枠6,884億円（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ 中小企業向け制度融資を実施



< 今年の九州合同プロモーション >

○ IoTを活用した製品・サービスの開発を支援 3,268万1千円

- ・ IoTシステムの製品開発や可能性調査を支援
- ・ 「IoT ビジネスフォーラム福岡」、顧客ニーズ把握のための現場見学会等を開催

○ 観光プロモーションを推進 598万1千円

- ・ 「JAPAN EXPO 2019」（パリ）において、福岡で開催するRWC2019のプロモーションを実施

## 農林水産部

○ 九州北部豪雨被災産地の復興を支援 1,058万8千円【新規】

- ・ 被災者の営農再開と産地の復興を支援するため、省力機械や新たな栽培技術等を導入した「複合経営園地」を順次整備

○ ため池等の安全対策を推進 32億4,048万2千円

- ・ ため池、農業用ゲート、用排水ポンプ等の老朽化対策を実施

○ 農林水産物の販売・消費を拡大 3,573万8千円

- ・ アンテナレストラン「福扇華」を活用した「福岡の食」の魅力発信を強化【新規】

○ 活力ある高収益型園芸産地を育成 14億5,616万4千円

- ・ 園芸産地の育成、雇用型経営導入等に必要な施設・機械の整備を支援



< アンテナレストラン福扇華（ふくおか） >  
（東京都千代田区麹町1-12-1  
住友不動産ふくおか半蔵門ビル1階）



# 主な事業（県土整備部、建築都市部）

## 県土整備部

### ○ 被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進 226億7千円

- ・ 道路や河川、砂防施設の復旧 157億9,278万円
- ・ 災害復旧と併せて行う道路や河川の改良工事、砂防ダムの設置等を実施 68億722万7千円

### ○ 災害初期対応を強化 633万1千円【新規】

- ・ 発災時、迅速に被害状況を把握し、早期の応急対応を図るため、全ての県土整備事務所にドローンを導入

### ○ 基幹的道路を整備 88億921万8千円

- ・ 産業振興の基盤となる基幹道路網を整備



<砂防ダムの設置>



<基幹的道路の整備>

## 建築都市部

### ○ 被災者の住宅確保を支援 14億3,730万6千円

- ・ 朝倉市、東峰村から受託し、災害公営住宅等を整備
- ・ 仮設住宅等からの引越費用、民間賃貸住宅入居の初期費用を助成【新規】

### ○ 天神中央公園を再整備 2億7,096万5千円

- ・ 西中洲エリアを再整備し、リニューアルオープンに合わせて記念式典を開催するとともに、光の演出イベントを実施



<天神中央公園西中洲エリア(整備後イメージ)>



# 主な事業（警察本部、教育委員会）

## 警察本部

- **女性警察官の採用・登用を拡大 893万3千円【新規】**
  - ・ SNS等を活用した効果的な採用募集勧奨活動を実施
  - ・ 警察署における更衣室、仮眠室等の女性専用施設を整備
- **高齢運転者対策を推進 6,819万2千円【新規】**
  - ・ 認知機能検査予約受付コールセンターの設置及び高齢者講習等管理システムの導入により、受講待ちの長期化を解消
- **G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議に向けた警備体制を強化 2億9,303万円**
  - ・ 会場周辺の状況調査、警備計画策定、現地警備本部設置による警戒警備等を実施



## 教育委員会

- **県立学校空調の設置・管理を県に移管 2億6,932万7千円**
  - ・ 県立高等学校等のPTA設置・管理空調を県に移管し、県費負担への切り替えを実施



- **良好な教育環境を確保 86億6,214万6千円**
  - ・ 「福岡県立学校施設長寿命化計画」に基づく大規模改築、トイレ改修等を実施
- **県立体育・スポーツ施設を改修 9億433万3千円**
  - ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿等に向けたバリアフリー化、老朽化対策工事を実施